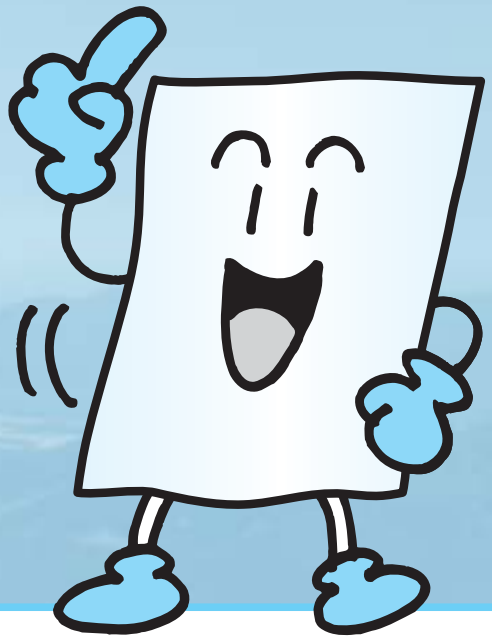
広報
ふじ
11 5 2003
No.836
毎月5日・20日発行

へびのびっくり箱をつくったよ！
～牛乳パックでリサイクル工作～
ぐるん・ぱ　よねのみや　10月18日

主な内容

富士のふもとの
紙の街・リサイクルの街
地域社会貢献者褒賞表彰

ルの街



初めまして！僕は富士市で生まれた再生紙だよ。

みんなは、富士市が紙の街ってことは知ってるよね。でも、再生紙の生産が盛んなことは知ってたかな？

富士市では、不要になった古紙に命を吹き込んで、再び新しい紙としてよみがえらせる再生紙産業が盛んなんだ。みんなの家で不要になった新聞紙や牛乳パックなどは、ここ富士市で生き返り、さまざまな形でみんなの生活の中に戻っているんだ。

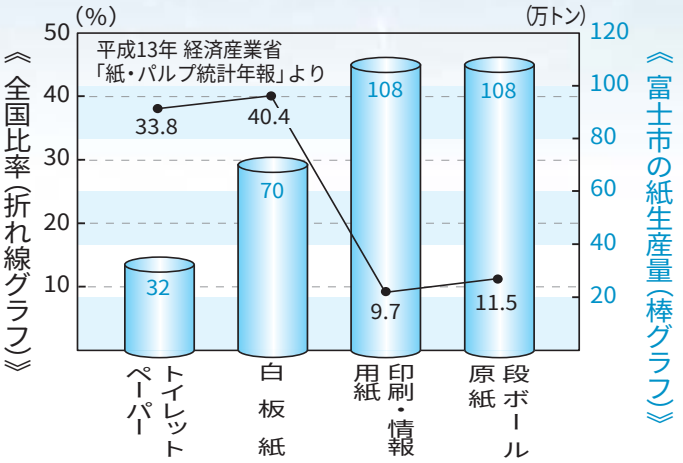
紙の街・富士市は、リサイクルの街。今回は、僕と一緒に、富士市の再生紙についてちょっと勉強してみよう！

紙の街　富士市

紙には、みんながよく使うノートやコピー用紙、段ボール、毎日使うティッシュペーパーやトイレットペーパーなど、いろんな種類があるよね。

富士市で一番多く生産されているのは、段ボール原紙や印刷・情報用紙。また、トイレットペーパーや白板紙の生産量は、全国の生産量の三～四割を占めているんだ。

トイレットペーパーで言うと、日本じゅうのトイレットペーパーの三個に一個は富士市でつくられたものなんだ。すごいね！



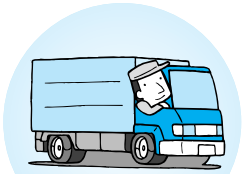
製紙業を支える産業

製紙会社は、文字どおり「紙をつくる会社」。市内には、平成十五年四月現在で、製紙会社が七十二社（八十四工場）もあるんだ。

でも、紙製品がみんなの家庭に届くまでには、さまざまな職業の人たちがかかわっているんだよ。

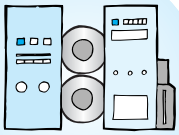
だから、紙の街・富士市には、製紙の関連企業もいっぱいあるんだ。

こういう意味でも、富士市は紙の街って言えるね。



倉庫・運送業

202社



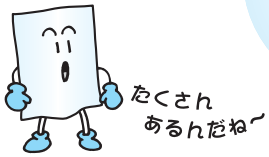
製紙関連機械業

133社

薬品関連業

58社

※数字は「平成14年版静岡の紙・パルプ」に掲載されている市内の会社数



※ほかにも、紙販売業、古紙回収業、紙加工業など、さまざまな企業があるよ。

富士のふもとの

紙の街・リサイク

一〇〇%パルプ紙と再生紙

紙には、一〇〇%パルプ紙と再生紙があるよね。

一〇〇%パルプ紙は、木材から取り出した天然パルプだけでつくる紙。再生紙は、古紙パルプを原料にしてつくる、リサイクルされた紙なんだ。

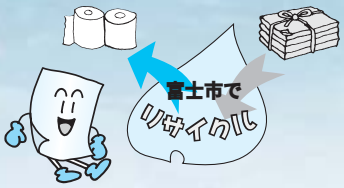
製紙技術の進んだ現在では、ほとんどの紙製品に再生紙が使われているんだよ。再生紙のトイレットペーパーやティッシュペーパーも、その品質は一〇〇%パルプ紙とほとんど変わらないんだ。

市内外から集められた古紙を再生紙に

富士市は、紙を大量に消費する首都圏に近いため、首都圏からの古紙をたくさん受け入れているんだよ。

これらを原料にして、板紙やトイレットペーパーなどの再生紙製品を生産し、全国に届けているんだ。

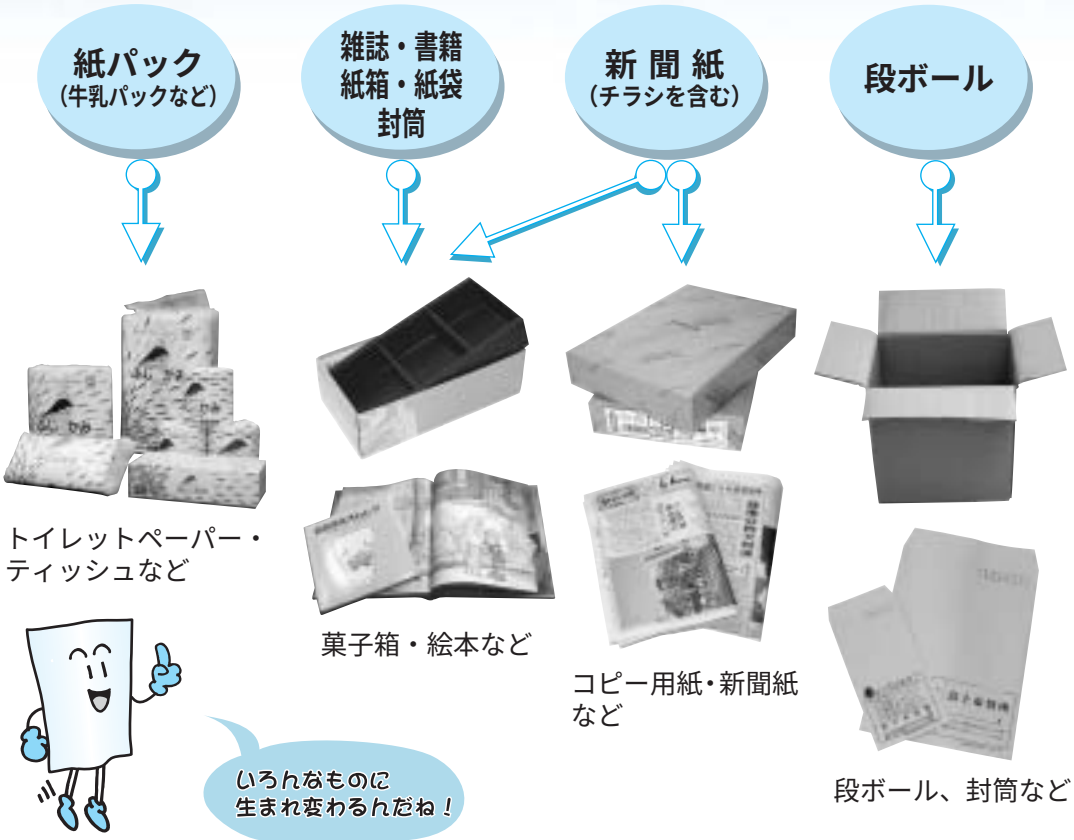
富士市で生まれた再生紙が、全国のいろんなところで活躍しているんだね！



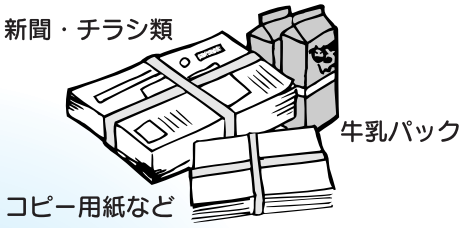
古紙からつくられる紙製品

古紙は、その種類によってそれぞれ違う製品に生まれ変わるんだ。だから、きちんと分別されていないと、再利用することができなくなってしまうんだ。

富士市では、古紙を大きく分けて四種類に分別して回収しているよ。一枚でも多くの紙が再生紙として生まれ変われるように、分別はしっかりしようね。

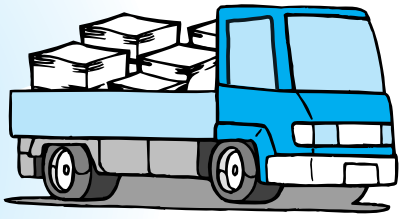


紙は生まれ
変わります



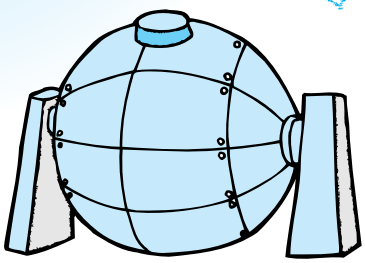
※古紙は種類ごとに分別

紙が生まれ



古紙回収

古紙回収では、家庭にある新聞紙や段ボールなどが集められます
（富士南中学校PTAによる古紙回収）



地球釜（ちきゅうがま）（またはパルパー）で古紙を煮る

大勢で協力し合い、回収作業をしています

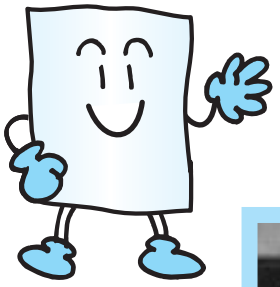
PTAでの古紙回収は、長年続けている活動の一つです。富士南地区は人口が多いので、集まる古紙の量もとても多いですね。作業は重労働ですが、毎回、中学生も含め、大勢の人が手分けして行っています。

古紙回収は、学校や地域ぐるみでの作業ですので、この活動を通して、地域の子どもたちと大人とのかかわりが生まれたり、物を大切にする気持ちを持ち、リサイクルへの意識を高めていけたりするといいですね。

富士南中学校PTA
環境整備部長
山田 美恵子 さん（森島）

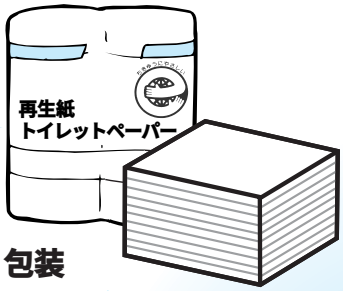
《参加した中学生の声》

こんなにたくさんの古紙が集まるとは思わなかったです。作業は大変だったけど、こうして集めた紙が、再生紙としてまた生き返るのはうれしいです。紙をごみとして簡単に捨ててしまわないようにしようと思います。



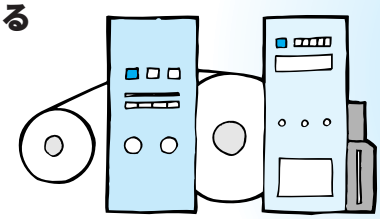
新しい命が吹き込まれ、変わるまで

くすの木学園でのトイレットペーパーの加工作業

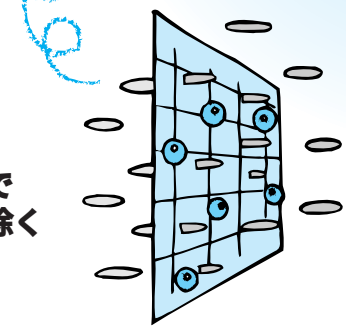


加工・包装

抄紙（しょうし）機で均一な厚さに整え、原紙をつくる



スクリーンで異物を取り除く



よい製品づくりを心がけています

くすの木学園（知的障害者授産施設）では、製紙会社からトイレットペーパーの原紙を購入し、裁断から包装、箱詰、販売までを行っています。昨年度は七十三万ロールを出荷しました。ここでつくられた製品は、市内の公共施設や個人のお客さんに販売しているほか、富士宮市などの近隣市町村をはじめ、静岡市や伊豆長岡町などへも販売をしています。

よい製品をつくろうと、みんなで協力しながら作業をしていますよ。

くすの木学園支援員
山本 行信 さん

市内の公共施設ではおなじみのトイレットペーパー「くすの木」

エネルギーもコストも少なくてすむ、環境に優しい再生紙

再生紙は古紙を原料としているため、木材から紙をつくる場合に比べ、作業工程や設備などが少なくて済みます。また、消費エネルギーも一〇〇％パルプ紙の二五％～三〇％程度で済むなど、とても環境に優しいものです。

現在、古紙の約六〇％が再利用されていますが、焼却処分される紙もまだ多くあります。ごみの減量のためにも、紙のリサイクルはより一層進めていかなければなりませんね。

再生紙の積極的な利用は富士市の活性化にも

家庭紙工業組合では、組合の統一ブランドとして、「ふじのかみ」という再生紙一〇〇％の家庭紙をつくっています。現在は注文販売を行っていますが（八ページ参照）、近い将来、スーパーなどで皆さんが気軽に購入できるようになるよう、準備を進めています。

再生紙の積極的な利用は、富士市の産業の活性化にもつながります。ぜひ、地元で生産された商品を皆さんに愛用していただき、再生紙への理解を深めていただきたいですね。

静岡県家庭紙工業組合
副理事長
井出 清章（きよあき） さん （右）
村中 正明 さん （左）

工夫で～ゼロ・エミッションを目指して～

※ゼロ・エミッション
生産の過程で生じる排出物を、再利用により限りなくゼロに近づけること

再生紙をつくるときにどうしても出てきてしまうもの…それは、「ペーパースラッジ」と言われる製紙かすや、古紙に含まれているごみ。

昔から製紙業の盛んな富士市は、何十年もの間、紙をつくるとともに、このペーパースラッジやごみを処理しているんだ。

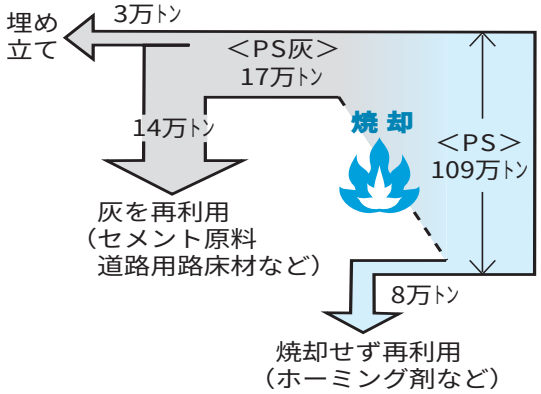
再利用はするのだけれど…

ペーパースラッジ（以下ＰＳ）とは、古紙に含まれる細かい繊維や粘土分が廃棄物として出された物。これを焼却処理して残った物をＰＳ灰って言うんだ。

富士市では、年間約十七万トンものＰＳ灰が発生しているんだ。約八割は再利用されているけれど、残りの約三万トンは富士山のふもとの処分場に埋められているんだよ。その処分場も、今はもういっぱいになってきているんだ。

古紙と一緒にごみまでも…

みんなは、ビニールやホッチキスの針がついたままの紙を、古紙回収に出しちゃってない？こういうごみは、再生紙をつくるときに邪魔になるので、全部取り除かなくちゃいけないんだ。富士市は全国から古紙を集めているから、もともと富士市になかったはずのごみが、古紙と一緒に集まってしまうんだ。



ＰＳの処理状況（平成14年度）

ＰＳ灰の有効利用のため研究を重ねています

ＰＳの再利用に関する研究は、昭和四十年代から行われています。平成十三年度からは、ＰＳ灰を製紙原料として紙に再利用する研究に、本格的に取り組んでいます。ＰＳを構成する物はもともと紙の中に含まれていたものですから、もう一度紙に戻すことはできないかという発想から、この研究が始まりました。

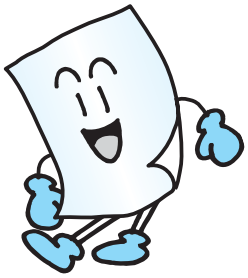
この研究では、試験的な製造を行いましたが、ＰＳ灰を塡料（てんりょう）や顔料として使用しても問題なく紙をつくることができ、製紙機械にも影響を与えないということを確認しました。今後はこの研究を生かし、インクジェット紙などの、質がよく利用価値の高い紙をつくる研究を進めていきたいと思っています。

技術を生かし、よりよい富士市の環境を

ＰＳの問題だけでなく、富士市での製紙業による煙突の煙や悪臭、排水などは、昔に比べてよくなってきているとはいえ、まだまだ改善できるところはあると思います。当センターで開発された技術が生かされ、富士市の環境がよくなっていくといいですね。

県富士工業技術センター
紙リサイクルプロジェクトスタッフ
村松 重緒（しげお）さん

PS ごみ までもリサイクル！



これまでも、セメント材料などに再利用されてきたＰＳ灰。最近では、さらに別のものに再利用できないかと、さまざまな研究が進んでいるんだ。

ＰＳ灰を、埋め立てることなく一〇〇％再利用できるようになってこそ、本当の「リサイクルの街」だね！

ＰＳ灰を再利用したブロックでつくられた歩道。市立富士体育館西側のみゆき通り（写真）のほか、市役所周辺の歩道などにも使われています。

県富士工業技術センターで試作された、ＰＳ灰をまぜてつくった紙。印刷にも使えることが確認されています。

ＰＳ灰を乾燥させて菌をまぜることで、肥料などとしても再利用されています。

コストを考慮し、効率のよい利用方法を

当社では現在、ＰＳ灰の中に含まれる、紙の原料の一つである顔料を、もう一度原料として使用する試みを、県富士工業技術センターの協力を得て、実用化を目指して行っています。しかし、顔料を分離するためのプラントをつくるにはとてもコストがかかりますので、実用化は今はまだ少し難しいですね。いかに効率よく、コストも抑えてＰＳ灰の再利用ができるかが、現在の大きな課題です。

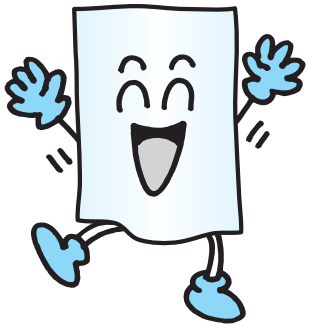
ＰＳ灰やごみを積極的に活用していきたい

これまでも、ＰＳ灰はセメント原料やブロックなどに再利用してきましたが、まだ再利用されている量は多くありません。しかし、これからさらに研究を重ね、積極的に利用していくことで、ＰＳ灰は今よりももっと再利用されるようになると思います。

また、古紙に含まれるフィルムやビニールなどのプラスチックごみを、燃料として再利用することにも力を入れています。廃棄物を積極的に活用し、これまで以上に「ゼロ・エミッション」を進めていきたいですね。

富士製紙株式会社
常務取締役
土屋　寛（ひろし） さん

輪を回そう



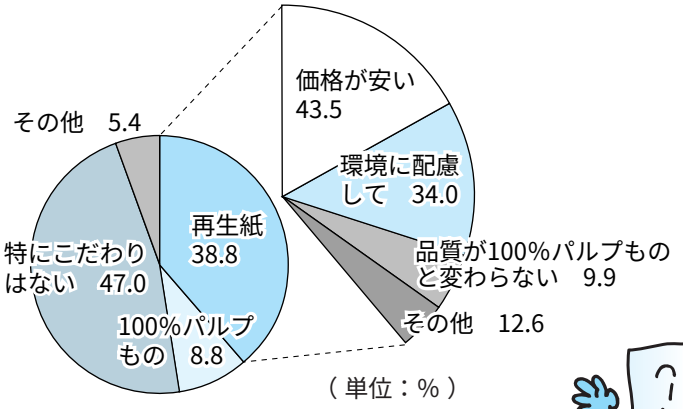
再生紙の製品がつくられても、使わなければ製品は余ってしまうばかり。どうせ紙を使うなら、再生紙製品を積極的に使わなくっちゃ。（でも、むだ遣いはよくないよっ！）

特に、トイレットペーパーやティッシュペーパーは、一度使ったら二度と再利用ができない物。こういう物こそ、再生紙を使わなきゃね。

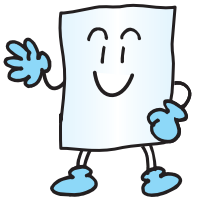
古紙回収と同じくらい、再生紙の利用にも関心を持って

平成十三年に行った世論調査では、再生紙のトイレットペーパーを購入する人は約三九％。また、四七％の人は「特にこだわりはない」って答えているんだ（右図）。もし、この四七％の皆さんが意識して再生紙を利用してくれたら、再生紙の利用率はぐんとよくなるね！

再生紙は、使ってこそリサイクル。古紙回収や、牛乳パックの回収を積極的に行ってくれる皆さんが多いのと同じように、再生紙製品を積極的に使ってくれる人が多くなるとうれしいな。



購入するトイレットペーパーの素材と、再生紙のトイレットペーパーを選ぶ理由



富士市からPR！「再生紙を使おう」

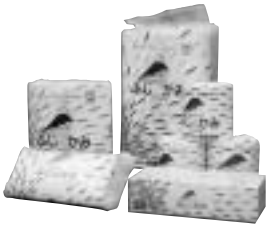
◆新富士駅や公共施設などで再生紙の利用促進をアピール

富士地域の製紙会社、古紙業者、富士市消費者運動連絡会、商工団体や行政などで構成される「富士地域再生家庭紙利用促進協議会」では、新富士駅やロゼシアター、公民館などのトイレに下のようなステッカーを張り、「紙の街・富士市」と「再生紙の利用促進」のPRをしています。

◆贈り物などに「ふじのかみ」を

県家庭紙工業組合では、組合のブランド商品「ふじのかみ」の注文販売を受け付けています。申込書は、富士商工会議所や市工業振興課などの窓口にありますのでご利用ください（県家庭紙工業組合ホームページからダウンロードもできます）。

◎ホームページ
http://www.sitia.or.jp



再生紙をむだなく使い、リサイクルの

富士市消費者運動連絡会
代表
片岡 英子 さん（中丸）

消費者運動連絡会では、「富士地域再生家庭紙利用促進協議会」に所属するなど、市内外で再生紙の利用促進についてPR活動などを行っています。

「紙のリサイクル」というと、新聞紙や牛乳パックを集めることだけで終わりだと思われがちですが、それだけではリサイクルとは言えません。再生紙製品が使われることで、初めて紙のリサイクルの輪がつながります。せっかく、この富士市の空気や水を使ってつくられる再生紙ですから、富士市民に限らず、全国の皆さんにも、ぜひ再生紙を積極的に使ってほしいですね。

しかし残念なことに、お店の売り場では、どれが再生紙製品であるかがわかりにくく、なかなか消費者の目にとまりません。多くの人が再生紙を使うことで、再生紙製品の品質がさらによくなったり、価格が下がったりして、買いやすくなると思います。再生紙をつくっている富士市だからこそ、お店では、一目で再生紙製品がわかり、買いやすくなるような工夫があるとうれしいですね。

富士市でつくられた再生紙を積極的に使いたい

平成15年度紙モニター
吉川 光義 さん（宮島）

紙製品を購入するときには、意識して再生紙製品を選んでいます。再生紙を使うことは、森林資源の保護だけでなく、ごみの減量にもつながりますからね。

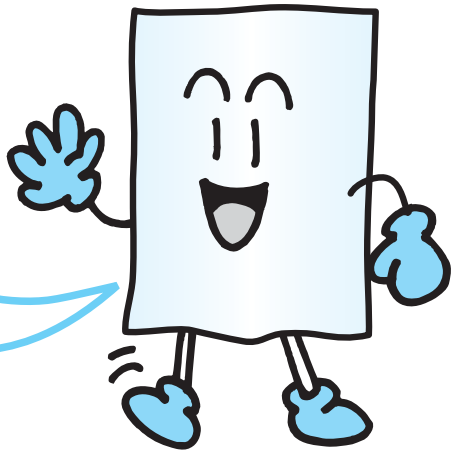
家庭では、紙をごみとして出さないよう、種類ごとに分別して集めています。また、きれいな包装紙を再利用したり、包装紙やチラシなどで封筒をつくって使ったりなど、家の中でも工夫して紙の再利用をしています。

今、家庭から出るごみの中には、紙が非常に多いですね。新聞紙や雑誌などは古紙回収として出されますが、それ以外の紙くずなどは、ごみとして出されてしまいます。

富士市は、全国的にもすばらしい紙の街です。だからこそ、市民一人一人が紙を大切にし、紙に対する関心を高めていけるといいですね。

紙をごみとして出さない工夫をしています

吉川さんが包装紙やチラシを使ってつくった封筒



今回の特集はどうだった？知らなかったこともたくさんあったかもしれないね。

紙のリサイクルの輪を回すのは皆さん。大切なのは、紙を捨てずに古紙として分別回収に出すことと、再生紙製品を選んでむだなく使うこと。そうすることで、富士市の産業もぐんと元気になるよ。

決して難しいことじゃないよ。まずは、できることから始めてみよう！

●問い合わせ●

富士市の紙産業については
工業振興課 ☎五五―二七七九
「ふじのかみ」については
県家庭紙工業組合
☎三五―五〇六一

平成15年度
富士市地域社会貢献者褒賞表彰

市は、コミュニティ活動をはじめ、社会福祉活動、文化活動、青少年健全育成活動、女性活動、交通安全活動、善行などで地域社会に貢献している市民・団体を対象に地域社会貢献者褒賞制度を設けています。

ことしは十一月十日（月）にロゼシアターで十一人が表彰されます。

コミュニティ活動

宮﨑和男さん（富士見台７）

平成五年四月、富士見台七丁目町内会長に就任。富士市町内会連合会副会長、富士見台地区まちづくり推進会議議長などを歴任し、地域の自治振興などに大きく貢献されました。

青少年健全育成活動

松永満江さん（中央町１）

昭和五十三年四月、富士市青少年指導委員に就任。同委員女性班班長、富士市薬物乱用対策相談員などを歴任し、指導的役割を果たすとともに、会の発展と青少年の健全育成に大きく貢献されました。

コミュニティ活動

長田　昇さん（下横割）

昭和五十九年四月、十兵衛北区長に就任。富士市町内会連合会常任理事、富士環境衛生自治推進協会支部長などを歴任し、地域の自治振興などに大きく貢献されました。

社会福祉活動

帯金行夫さん（今泉）

昭和五十八年十二月、民生委員児童委員に就任。富士市民生委員児童委員協議会会長などを歴任し、指導的役割を果たすとともに、会の発展と地域福祉の向上に大きく貢献されました。

女性活動

松原澄子さん（鈴川東町）

平成三年四月、元吉原地区婦人会副会長に就任。同会会長、女性ネットワーク・富士会長として、指導的役割を果たすとともに、女性の社会参加に大きく貢献されました。

社会福祉活動

渡邉とよさん（石坂）

昭和五十九年五月、保護司に就任。富士地区保護司会副会長、同会女性部副部長などを歴任し、地区をまとめ、指導的役割を果たすとともに、市民の更生及び地域福祉の向上に大きく貢献されました。

社会福祉活動

中西武子さん（中央町２）

昭和五十一年十月、民生委員児童委員に就任。富士市民生委員児童委員協議会副会長などを歴任し、指導的役割を果たすとともに、会の発展と地域福祉の向上に大きく貢献されました。

交通安全活動

佐々木清和さん（伝法）

昭和六十二年六月、富士市交通安全指導員に就任。富士市交通安全指導員会副会長などを歴任し、会の発展と交通事故防止及び交通安全思想の普及に大きく貢献されました。

社会福祉活動

石原克郎さん（宮島）

昭和六十一年八月、保護司に就任。富士地区保護司会広報部長、同会田子浦支部長などを歴任し、地区をまとめ、指導的役割を果たすとともに、市民の更生及び地域福祉の向上に大きく貢献されました。

社会福祉活動

勝又光一さん（伝法）

昭和五十五年十二月、民生委員児童委員に就任。富士市民生委員児童委員協議会副会長などを歴任し、指導的役割を果たすとともに、会の発展と地域福祉の向上に大きく貢献されました。

交通安全活動

髙橋　博さん（大淵）

昭和六十年六月、富士市交通安全指導員に就任。富士市交通安全指導員会広見地区幹事として、会の発展と交通事故防止及び交通安全思想の普及に大きく貢献されました。

まちかど ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の話題をお届けしています。
広報広聴課☎55－2700へご連絡ください。

ひと

陸上200メートル走で
県小学生新記録を樹立した

内藤 牧人（まきと）さん

（吉原小学校６年・吉原２）

＋月十二日、第三十二回県小学生陸上選手権大会が県営草薙陸上競技場で開かれ、小学五・六年男子二百メートルで、富士陸上教室所属の内藤牧人さんが予選で二十五秒一三、決勝でも二十五秒二一の県小学生新記録で優勝しました。この記録は、これまでの記録を〇・八九秒も更新する快挙。小学生離れした見事な加速で、ほかの選手を圧倒しました。また、同大会の四百メートルリレーでは、アンカーを務めて優勝し二冠を達成しました。

内藤さんは富士陸上教室で週三回練習し、冬場には長距離走でスタミナを強化してきました。夏の全国大会では、四百メートルリレーで全国三位に入賞する原動力に。今大会の個人種目では、初挑戦の二百メートルに絞っての出場でしたが、「新記録を出そうと初めからねらっていました」と意欲を持って臨みました。

「小学二年生から陸上を始め、三年生のとき県大会の百メートルで二位になり、陸上に興味を持ちました」という内藤さんは、小学四年生以降、県内の同学年相手に百メートルで負けなし。しかし、ことしの五月ごろから約二か月間、成長からくる足の痛みで、全く走れず苦しい思いをしました。それだけに、「リレーでの全国三位や今回の結果はとてもうれしいです」と顔がほころびます。

百メートルでも県小学生記録にあとわずかに迫る十二秒四八の自己ベストを持つ内藤さんは、「早く百メートルで十一秒台を出したいです。中学校では陸上部に入り、全国で活躍する選手を目指して頑張ります」と今後の目標を語ってくれました。

▲新記録を出した200メートルでの走り

ズーム アップ ふじ

露地物の秋菊の切り花が出荷の最盛期に

古くから日本人になじみ深く、全国で最も生産の多い花となっている菊。富士市でも菊の栽培が盛んに行われているのを皆さんはご存じですか。富士市の菊は、昭和の初期にキュウリの後作として取り入れられたのが始まりと言われ、浜松市や湖西市などとともに県内の主要産地になっています。市内の産地は主に元吉原や田子浦地区などの市南部で、平成十三年の生産量は約四百七十万本。夜間に光を当てて栽培する電照栽培に取り組み、東京など首都圏を中心に出荷されています。

菊の栽培は一年中出荷が可能なハウスがメーンですが、菊の自然開花期は秋で、九月から十一月にかけて露地物の菊が出荷の時期を迎えます。

栽培歴三十年以上のベテランで、富士市農協の菊部会長を務める渡辺光司（こうじ）さん（今宮）は、「市内には菊を専業で栽培をしている家が多くあります。愛知県や九州などの大産地が白い菊を中心に出荷していますので、黄色の菊の出荷割合が高くなっています。菊は日照時間によって成長が左右される植物です。ハウスでは電照時間を微妙に調整して需要の多い時期に合うよう育てています。経験と勘が物を言うところですね。露地物では病害虫がつきやすいので神経を使います。一本に一つの大きな花を咲かせるため、途中で芽を摘む作業は手間がかかりますが、花や葉の色など満足のいくできになるとうれしいですね」と話してくれました。

▲畑で菊の様子をうかがう渡辺光司さん、邦子さんご夫妻

▲菊の出荷の最盛期は、仏事の多いお盆や暮れ、春と秋の彼岸

エンジョイスポーツ教室

☎　文化スポーツ課　55-2876

と　き　平成16年1月6日～3月9日　10:00～11:30　毎週火曜日　計10回
ところ　市立富士体育館
内　容　ニュースポーツ、ストレッチ体操、リズム体操
対　象　市内在住・在勤の人
定　員　70人（申し込み多数の場合抽せん）
参加費　1,000円（スポーツ保険料を含む）
申し込み　12月5日（必着）までに、往復はがきに、「エンジョイスポーツ教室」教室、氏名、住所、年齢、電話番号を記入し、〒417-8601 富士市教育委員会文化スポーツ課へ

「明るい暮らしの家計簿」の無料配布

☎　市民生活課　55-2750

配布冊数　100冊（応募者多数は抽せん）
対　象　消費生活から生じる環境への影響を考えながら利用できる人
申し込み　11月25日（必着）までに、はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、〒417-8601 富士市役所市民生活課へ

●市民れんらく版●

★富士フィルハーモニー管弦楽団～第24回定期演奏会～

と　き　11月24日(月)　13:30開場
ところ　ロゼシアター大ホール
入場料　一　般　1,500円
　　高校生以下　500円
問い合わせ
　吉田　方
　☎090-8862-7060

歯科医師が伺います

☎　保健福祉センター　64-8993

対　象　市内在住で65歳以上の在宅で、寝たきりの人
方　法　保健師による事前調査訪問後、歯科医師と保健師が訪問し、口の中の健康チェックを行います。治療が必要な人は、往診治療を行います
※介護者の付き添いが必要です。
費　用　無料（ただし、往診治療は医療機関で支払う一部負担金と同額）
申し込み　電話で、保健福祉センターへ

犬とねこの飼い方教室

☎　環境衛生課　55-2768

と　き　①11月27日(木)、②12月18日(木)　13:30～16:00
ところ　県富士総合庁舎2階201会議室
内　容　犬や猫の本能・性質、健康管理、関係法令など
対　象　これから犬や猫を飼う予定のある人または既に飼っている人
定　員　各30人（応募者多数の場合は抽せん）
受講料　無料
申し込み・問い合わせ　①11月20日（必着）、②12月12日（必着）までに、往復はがきの往信用裏面に、希望日・住所・氏名・電話番号・動物の種類（犬・猫）、動物の名前・性別・年齢と現在困っていることを記入し、〒416-0906 本市場441-1 富士保健所衛生課へ　☎65-2154
※犬や猫は連れてこないでください。

転倒予防教室

☎　保健福祉センター　64-8993

と　き　12月5日・19日、平成16年1月9日・23日、2月6日・20日、3月12日　各金曜日　計7回　13:30～15:30
ところ　今泉公民館
内　容　医師による講話、健康チェック、体力測定、転倒予防のための運動など
対　象　60～74歳の人
定　員　20人（先着順）
参加費　800円（スポーツ保険料）
申し込み　11月25日から受け付けます。電話で保健福祉センターへ

「健康ふじ」シンボルマーク募集

☎　保健福祉センター　64-8993

健康で、生き生きと暮らせるまちを目指して、市民みんなで健康推進に取り組む事業のシンボルとなるようなマークを募集します。
期　間　11月20日～平成16年1月30日
対　象　市内在住・在勤・在学している人
応募方法　応募用紙へ、シンボルマーク（応募用紙1枚に1作品）・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入して投函(とうかん)箱へ
※応募用紙、投函箱はフィランセ及び各公民館にあります。
※応募数は1人1点とし、応募作品は返却しません。応募作品の著作権は、富士市に帰属し、今後の健康推進啓発事業に活用します。

ダイヤルお出かけ情報　☎53-1111

11月の休日当直医など

内科・小児科・外科
救急医療センター　51－0099　津田
●診療時間
平　日　午後7時～翌朝8時
土曜日　午後2時～翌朝8時
日曜祝日　午前9時～翌朝8時

◆11月9日(日)
産婦人科　ロゼレディースクリニック　60－5747　蓼原町
眼　科　芦川病院　52－2480　中央町
耳鼻科　井上医院　(055)921－8765　沼津
柔道整復　北村接骨院　63－7180　宮島

◆11月16日(日)
産婦人科　望月産婦人科医院　34－0445　西比奈
眼　科　中西眼科医院　36－1800　中野
耳鼻科　柏木耳鼻科医院　(055)993－4771　裾野
柔道整復　望月接骨院　71－8303　厚原

◆11月23日(日)
産婦人科　北西医院　61－0119　本市場
眼　科　杉浦眼科医院　65－8500　川成新町
耳鼻科　大谷耳鼻科医院　61－1860　水戸島元町
〃　本橋医院　(055)975－1773　三島
柔道整復　岡本接骨院　34－3511　中里

◆11月24日(月)　振替休日
産婦人科　櫛山産婦人科医院　72－2626　厚原
眼　科　花崎眼科医院　66－0100　青葉町
耳鼻科　崎川医院　(055)975－9131　清水町
柔道整復　下村接骨院　35－3663　大淵

◆11月30日(日)
産婦人科　武田産婦人科医院　63－5122　宮島
眼　科　加藤医院吉原分院　57－3000　中央町1
耳鼻科　ぬまづ島田医院　(055)924－0780　沼津
柔道整復　佐野接骨院　52－0774　吉原4

◎休日救急歯科診療
診療時間　午前9時～午後4時
診療場所　歯科医師会館　☎53-5555

平日の夜間及び休日当直医の問い合わせは…　☎51－9999

女性ネットワーク・富士 レディース・フェスタ2003

☎　男女共同参画室　55-2724

と　き　11月30日(日)　9:30～
ところ　フィランセ西館4階ホール
内　容　講演会、記念式典、活動紹介・展示、地場産品バザー（果物、総菜、菓子など）
… 講演会　10:10～11:10 …
テーマ　「地域と女性」
講　師　坂本由紀子さん（厚生労働省職業能力開発局長　元静岡県副知事）
参加費　無料
申し込み　当日直接会場へ

パートタイム労働ガイダンス及び労働相談会

☎　商業労政課　55-2778

と　き　12月3日(水) 13:30～15:30
15:30より個別相談実施
ところ　ラ・ホール富士
内　容　パートタイムの現状、自分に合った職場の見つけ方、社会保険制度、税金など
定　員　50人（先着順）
申し込み　直接またはFAXで下記へ
ハローワーク富士　☎51-2151
FAX 52-7743
商業労政課　FAX 51-1997

こども療養センター 臨時職員（作業療法士）募集

☎　こども療育センター　21-9480

勤　務　平成16年4月1日～平成17年3月31日　8:30～17:00
勤務地　こども療育センター
内　容　肢体不自由・知的障害を持つ乳幼児の作業療法
資　格　作業療法士資格取得者（見込み者も含む）
募集人員　1人
申し込み　平成16年2月29日までに市販の履歴書に必要事項を記入し、直接こども療育センターへ（後日面接あり）

青少年センター 青年教養講座

☎　青少年センター　21-6129

講座名	期間	曜日	時間	回数	定員	教材費
パソコン（ワード）	1/5～3/15	月	19:00～21:00	10回	10人	2,500円
パソコン（エクセル初級）	1/7～3/17	水				
パソコン（エクセル）	1/8～3/11	木				
エアロビクス	1/7～3/17	水	19:30～21:00		20人	無料
英会話（ビギナー）	1/9～3/12	金	19:00～20:00		15人	
英会話（中級）			20:00～21:00			

ところ　青少年センター（広見小学校西側）
対　象　市内在住・在勤で15～30歳の人（中・高校生は不可）
受講料　教材費のほか、保険料250円と利用者会費500円が必要となります。
申し込み　11月17日～12月5日に、直接または往復はがき（1講座×1枚）の往信用の裏面に希望する講座名、曜日、住所（市外在住の人は、勤務先を明記）、氏名（ふりがな）、生年月日、電話番号を、返信用の表面に住所、氏名を記入し、〒417-0862 石坂456-5 青少年センターへ（応募者多数の場合は抽せん）
※応募者が定員の半数に満たない場合は中止となります。

熟年夫婦のコミュニケーション講座

☎　男女共同参画室　55-2724

子育てが一段落してふえていく夫婦の時間。これからの夫婦関係を豊かにするためのワークショップに参加してみませんか。

と　き　12月6日(土)、13日(土)
13:00～16:00　計2回
ところ　フィランセ西館3階 会議室1
内　容　講義、グループワーク、ロールプレイ
対　象　市内在住・在勤の30歳以上の夫婦
定　員　20組40人（先着順）
申し込み　12月3日までに電話またはFAX・Eメールに夫婦の氏名・住所・電話番号を記入し、男女共同参画室へ　FAX 51-2363
E so-danjo@city.fuji.shizuoka.jp

女性の人権ホットライン

ひとりで悩まず、電話してください。

相談内容　夫やパートナーからの暴力や、職場でのセクシャル・ハラスメント、ストーカーなど
特別相談日
11月20日(木)　9:00～16:00
☎054-254-3589
（静岡地方法務局　静岡県人権擁護委員連合会）
通常相談日
静岡地方法務局富士支局（月～金曜日）
☎53-1200
市役所2階市民相談室（毎月第2、4木曜日）
☎55-2750
フィランセ（毎月第1、3、5木曜日）
☎64-3294
☎　社会福祉課　55-2757

聴覚障害者情報提供事業 登録者募集

☎　障害福祉課　55-2761

内　容　耳の不自由な人の災害時などの情報伝達手段の一つとして登録者を募集します（登録無料）。これはNTTのFネットを利用して、有事の際にFAXで情報をお伝えする予定のサービスです。
申し込み　随時受付、FAXで氏名とFAX番号を記入し、障害福祉課へ
FAX 53-0151

11月の教育委員会会議

と　き　11月28日(金)　9:30～
ところ　市役所6階第3会議室
☎　教育総務課　55-2865

博物館ゼミナール「考古学入門」受講生募集

☎　市立博物館　21-3380

と　き　①11月29日(土)、②月10日(水)、③12月17日(水)、④平成16年1月7日(水)、⑤3月17日(水)、⑥4月4日(日)　計6回　13:30～15:30
※④は10:00～15:00、⑥は時間未定
ところ　市立博物館ほか
内　容　特別講座、基礎講座、フィールドワーク、解説ボランティア体験
対　象　20歳以上で毎回参加できる人
定　員　15人程度
受講料　500円（保険料込み）
※受講料は初日に集めます。
申し込み　11月19日 9:00から電話で市立博物館へ

ファミリー・サポート・センター交流会の参加者募集

☎　ファミリー・サポート・センター　66-4128

仕事と育児の両立支援活動を行っている会員の交流会に参加しませんか。

と　き　**11月29日㈯ 10:00～12:00**
ところ　**フィランセ西館3階第1会議室**
内　容　**地区別懇談会、アトラクションなど**
対　象　**会員及び事業に関心のある人**
申し込み　**11月28日までに電話でファミリー・サポート・センターへ**

「おしゃれ喫茶室」受講生募集

☎　吉原公民館　53-1580

と　き　**平成16年1月6日㈫・15日㈭・28日㈬、2月4日㈬・18日㈬・25日㈬　13:30～15:00　計6回**
ところ　**吉原公民館**
内　容　**講演、コンサートなど**
対　象　**一般男女**　受講料　**300円**
定　員　**70人（先着順）**
申し込み　**12月9日・10日の9:00～17:00に受講料を持参し、吉原公民館へ**

市立博物館展示会「技を支えた道具たち」

☎　市立博物館　21-3380

と　き　**11月22日～12月14日 9:00～16:30**
ところ　**市立博物館**
内　容　**桶屋、鍛冶屋、下駄屋など暮らしの中から消えつつある職人の技と、その技を支えた道具類を展示します**
入館料　**大人100円　小・中学生50円**
休館日　**毎週月曜日、祝日の翌日、11月26日㈬**

余暇を気軽なスポーツで楽しみませんか 初めてのピンポン

☎　文化スポーツ課　55-2876

と　き　**平成16年1月8日～3月11日　毎週木曜日　10:00～11:30　計10回**
ところ　**市立富士体育館**
対　象　**市内在住・在勤の人で、卓球経験の少ない人**
定　員　**50人（応募者多数の場合は抽せん）**
持ち物　**ラケット**　受講料　**500円**
申し込み　**12月12日までに往復はがきまたは、Eメールで教室名、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、〒417-8601 富士市教育委員会文化スポーツ課へ**
E taiiku@city.fuji.shizuoka.jp

さわやか健康体操教室

☎　文化スポーツ課　55-2876

と　こ　ろ	と　き				定　員
市立富士体育館	1/7～3/17	毎週水曜日	計10回	10:00～11:00	各クラスとも60人
	1/9～3/12	毎週金曜日	計10回	①9:30～10:30 ②10:45～11:45	
田子浦公民館	1/8～3/11	毎週木曜日	計10回	①9:30～10:30 ②10:45～11:45	各クラスとも40人
広見公民館	1/6～3/16	毎週火曜日	計10回	10:00～11:00	各クラスとも35人
	1/9～3/12	毎週金曜日	計10回	①9:30～10:30 ②10:45～11:45	
鷹岡市民プラザ	1/6～3/16	毎週火曜日	計10回	①9:30～10:30 ②10:45～11:45	各クラスとも35人
天間公民館	1/7～3/17	毎週水曜日	計10回	10:00～11:00	50人
元吉原公民館	1/19～3/22	毎週月曜日	計10回	①9:30～10:30 ②10:45～11:45	各クラスとも35人
	1/8～3/18	毎週木曜日	計10回	10:00～11:00	
須津公民館	1/8～3/11	毎週木曜日	計10回	①9:30～10:30 ②10:45～11:45	各クラスとも35人
鷹岡公民館	1/19～3/22	毎週月曜日	計10回	①9:30～10:30 ②10:45～11:45	各クラスとも50人
	1/8～3/18	毎週木曜日	計10回	10:00～11:00	
富士見台公民館	1/8～3/11	毎週木曜日	計10回	①9:30～10:30 ②10:45～11:45	各クラスとも50人

内　容　**ストレッチ体操、リズム体操、レクリエーション**
対　象　**市内在住で12月1日現在満60歳以上の人**
参加費　**1,000円**
申し込み　**12月5日（必着）までに、往復はがきの往信用裏面に、「さわやか健康体操教室」、会場名（曜日と時間）、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒417-8601 富士市教育委員会文化スポーツ課へ（申し込み多数の場合抽せん）**
※電話、Eメールでの申し込みはできません。

シルバー人材センター ふれあいフェスティバル

と　き　11月23日(日) 9:30～15:00
ところ　シルバー人材センター

書道・華道・洋服リフォーム・盆栽などの作品展、チャリティーバザー、手芸品の即売会、焼きそばなどの模擬店、囲碁親善試合、空くじなしの抽せん会、障子張り・お飾り・和紙絵画・手まりづくりの実演など
※先着200人におもちのプレゼント

問い合わせ
富士市シルバー人材センター
☎53-1150

11月の水道料金・下水道使用料

○納入期限　11月28日㈮
（納入通知書は、今月中旬に郵送します）
○口座振替日　11月28日㈮

※納入は2か月に1度です（地区によって納入月が異なります）

～納入は便利で確実な口座振替で～
市指定金融機関の窓口で直接お申し込みください。
持ち物　通帳・印鑑（届印）・水せん番号（各世帯配布の「使用水量等のお知らせ」に記載）※申込書は金融機関にあります。
問い合わせ　水道部営業課　55-2846

ラ・ホール富士の自主事業
エアロビクス・エクセル教室

☎ ラ・ホール富士 53-4300

教室名	と		き	回	定員	受講料
エアロビクス	1/14～3/24	毎週水曜日	10:00～11:30 19:00～20:30	10回	30人	4,000円
	1/15～3/18	毎週木曜日	19:00～20:30			
	1/16～3/19	毎週金曜日	19:00～20:30			
エクセル	1/14～2/6	毎週水・金曜日	19:00～21:00	8回	20人	8,000円

ところ　ラ・ホール富士　　対　象　勤労者、一般（学生は除く）
申し込み　12月9日～14日の9:00～20:30に直接ラ・ホール富士へ（応募者多数の場合は抽せん）
※当せん者は、病気など特別な理由がない限りキャンセルできません。
※代理人での申し込みは1人分のみできます。

富士市への譲渡による勤労者福祉施設の名称変更

富士勤労者総合福祉センター「ラ・ホール富士」
→富士市勤労者総合福祉センター「ラ・ホール富士」
富士勤労者体育センター
→富士体育センター
※富士ハイツは富士市民が宿泊する場合、料金が10%割引になります。

☎ 商業労政課 55-2778

県富士水泳場休みのお知らせ

水がえ清掃のため12月1日(月)～7日(日)は利用できません。
また、国体合宿のため12月20日(土)から年内は一般の人の利用はできません。新年は1月5日(月)から営業します。

☎ 県富士水泳場 35-6022

国民年金（1号被保険者）の届け出を忘れていませんか？

下記のような場合は、市役所へ届け出が必要になります。
※国民年金（第1号被保険者）の加入対象者は、20歳～60歳の人です。
●会社などを退職して、自営業者や無職になった人。
●会社員や公務員に扶養されている配偶者（専業主婦など）の人で、配偶者が退職した人や、離婚または、年収130万円以上になり扶養を外れることになった人。
●厚生年金や共済組合に入っていない人で（会社員などに扶養されている配偶者を除く）、どの公的年金にも加入していない人。
※きちんと届け出をして納めるべき保険料を納めていないと、年金が受け取れなくなったり、年金額が減額されたりします。

☎ 市民生活課 55-2755

第3回富士市環境シンポジウム

☎ 環境政策課 55-2902

と　き　12月6日(土)　13:15～16:30
ところ　ロゼシアター中ホール
内　容　講演会、富士市の環境政策、環境活動発表、表彰式
講　演　「地球の温暖化と私たちの暮らし」
講　師　村山貢司(こうじ)さん（気象予報士、NHK気象キャスター）
参加費　無料
申し込み　申込書（環境政策課または各公民館で配布）に必要事項を記入し、郵送またはFAXで、〒417-8601 富士市役所環境政策課へ　FAX51-0522

特別障害者（寝たきり高齢者）認定

☎ 生きがい福祉課 55-2760

65歳以上で6か月以上臥床(がしょう)し、食事・排せつなど日常生活に支障のある寝たきり高齢者に対し、障害者控除対象者認定書を交付しています。認定を受けると、所得税・住民税の障害者所得控除が受けられます。
申し込み　随時生きがい福祉課へ

危険物取扱者試験

☎ 消防本部予防課 55-2860

と　き　平成16年2月15日(日)
○乙種（第4類）　10:00～12:00
○丙種　10:00～11:15
ところ　吉原第一中学校
申し込み　12月12日～18日に申込用紙（消防本部予防課で配布）に必要事項を記入し、直接または郵送で、〒420-0034 静岡市常磐町1-4-11 (財)消防試験研究センター静岡県支部へ　☎054-271-7140

市民憲章

市民憲章制定20周年

11月の重点項目

富士山のように 強く 正しく きまりを守り 平和で安全な社会をつくります

富士警察署管内の覚せい剤取締法違反による検挙者数は、平成6年から13年まで8年連続で県下1位でした。平成14年は2位でしたが、依然として市内の覚せい剤汚染が深刻であることをあらわしています。
このような状況を受け、市では、麻薬・覚せい剤の危険性についての広報啓発の取り組みをしてきました。
6月からは各公民館で『麻薬・覚せい剤「ダメ。ゼッタイ。」講演会』を開催しています。
また、ことしの9月12日には、市民総ぐるみで、麻薬・覚せい剤の撲滅を図る意志を明確にするため「麻薬・覚せい剤撲滅都市」を宣言しました。

富士市民憲章制定20周年記念大会 入場無料
とき・ところ　11月29日(土)　13:30～15:30　ラ・ホール富士
内　容　功労表彰、作文コンテスト表彰、講演
講　演　大石亜矢子さん（アイメイト「アン」とともに、盲導犬啓発活動を行っているソプラノ歌手）

総務課 ☎55-2705

富士市合併記念行事

（富士市民歌発表会）

昭和42年4月10日　吉原市民会館

富士市写真館

さまざまな合併記念行事を開催

昭和四十一年十一月一日、吉原市、富士市、鷹岡町の二市一町が合併し、人口約十六万人の新しい富士市が誕生しました。この二市一町は、製紙業を主産業とし、経済圏を同じにし、人的交流も盛んなことから、合併に向けての気運が高まってのことでした。

その翌年には、記念式典・富士市民歌発表会のほか、民踊祭、市中パレード、バレーボールの強豪チーム・日紡貝塚の招待体育行事など、さまざまな合併記念行事が市内各所で盛大に行われました。

多くの皆さんが参加して盛大に

当時、二市一町は産業の街として伸び盛りで活気がありました。そして、同じ富士山の恵みを受ける街として、合併するのは必然の流れだったような気がします。

私は市職員として式典に参加しました。会場は合併を祝う人でいっぱいで、ほかの記念行事も、多くの市民の皆さんが参加して大いに盛り上がりました。また、初めて富士市民歌を聞いたときは、テンポもよく、躍進する街にふさわしい曲だと感じました。富士山の名を冠した街として、さらに発展していってほしいですね。

合併当時の様子に詳しい

関　政雄さん

（伝法）

こちら編集室

11月５日は、私の○回目の誕生日。この記念すべき(!?)日に発行の今回の広報ふじでは、富士市の再生紙について紹介しました。

富士市が紙の街であることは知っていたものの、再生紙やＰＳのことについては、知らなかったことばかり。編集を通してとても勉強になりました。

最近では、家にある家庭紙について、「富士市産？100%再生紙？」などと確認してしまいます。残念ながら、100%パルプ紙もちらほら…。これではいけない！環境のため、富士市のため、もっと再生紙製品を使わねば。（幸）

人　口　242,745人　（前月比−54）
男　120,733人　（−56）
女　122,012人　（+2）
世　帯　85,013世帯（+8）10月1日現在
編集・発行　富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123㈹　FAX 0545-51-1456

ホームページ　http://fujishi.jp/

広報ふじは環境に優しい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています